

品目別レポート（醤油）

■品目説明

しょうゆは、蒸した大豆（主として脱脂加工大豆）と炒り砕いた小麦を混合し、種麴を加えて麴を造り、これに食塩水を加えたもの（もろみ）を半年程度発酵、熟成させることによってできる清澄な液体調味料である。

しょうゆには、濃口しょうゆ、淡口しょうゆ、たまりしょうゆ、再仕込みしょうゆ、白しょうゆの 5 種類があり、生産方式によって本醸造しょうゆ、混合醸造しょうゆ（もろみにアミノ酸液または酵素分解調味液、発酵分解調味液を加えて熟成させるもの）、混合しょうゆ（本醸造しょうゆまたは混合醸造しょうゆにアミノ酸液などを混合するもの）に大別される。

日本醤油協会によると 19 年の出荷量は前年比 1.7%減の 74 万 4,263 kl だった。また、都道府県別で最も出荷量が多いのは、19 年は千葉県（シェア 36.8%）、次いで兵庫県（同 16.0%）で、上記 2 県で全体の約 5 割を占める。しょうゆ企業（工場）数は 1,141 で前年比 2.4%減となった。

■貿易概況

▼表1：日本の醤油輸出

（単位：ドル、トン、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
米国	14,059,510	9,747	15,597,852	9,927	12,371,133	7,196	△ 20.7	△ 27.5
中国	5,676,608	3,448	5,963,164	3,467	7,298,147	4,376	22.4	26.2
オーストラリア	5,248,931	2,247	5,262,542	2,209	5,946,023	2,339	13.0	5.9
英国	4,757,573	3,015	4,996,870	3,445	5,034,189	3,548	0.7	3.0
韓国	4,261,729	2,154	6,879,833	2,803	4,897,323	2,349	△ 28.8	△ 16.2
全世界	63,833,254	38,693	69,951,088	40,901	70,450,998	42,776	0.7	4.6

注：対象はHSコード 2103.10-000

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

しょうゆ輸出の起源は古く江戸時代まで遡ることができるが、近年世界的な日本食ブームを背景にしょうゆの輸出は増えている。

19 年の醤油の輸出動向をみると、金額は前年比 0.7%増の 7,045 万ドル、数量は同 4.6%増の 4 万 2,776 トンであった。しょうゆの輸出は、金額ベースで 12 年まで 9 年連続の増加となり、13 年は一旦減少したが、14 年から 6 年連続の増加となった。

主要輸出国・地域の動向をみると、1 位（金額ベース）の米国は、金額が前年比 20.7%減の 1,237

万ドル、数量が同 27.5%減の 7,196 トンと、全体の約 2 割（金額で 17.5%、数量で 16.8%）を占めた。2 位の中国は、金額が同 22.4%増の 729 万ドル、数量は同 26.2%増の 4,376 トンと急増した。3 位のオーストラリアは、金額が同 13.0%増の 594 万ドル、数量は同 5.9%増の 2,339 トンだった。

■海外事情

●米国

▼表2：米国の醤油輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
中国	35,802,253	35,332	43,571,484	43,263	34,608,517	34,939	△ 20.6	△ 19.2
香港	13,503,208	9,811	14,544,086	10,866	14,978,193	10,490	3.0	△ 3.5
日本	15,697,001	8,364	17,579,804	9,112	14,390,254	6,976	△ 18.1	△ 23.4
タイ	7,128,766	5,092	7,254,957	5,267	9,223,201	6,768	27.1	28.5
台湾	5,220,448	4,313	5,440,410	3,950	4,759,737	3,436	△ 12.5	△ 13.0
全世界	92,936,857	74,199	103,130,963	83,263	95,003,608	75,390	△ 7.9	△ 9.5

注：対象はHSコード 2103.10-000

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

19 年の米国における醤油の輸入動向をみると、金額は前年比 7.9%減の 9,500 万ドル、数量は同 9.5%減の 7 万 5,390 トンであった。

輸入相手国の動向みると、1 位の中国が前年比 20.6%減の 3,460 万ドル（シェア 36.4%）、数量ベースでは同 19.2%減の 3 万 4,939 トン（シェア 46.3%）だった。2 位の香港は、同 3.0%増の 1,497 万ドル（同 15.7%）、数量ベースでは同 3.5%減の 1 万 490 トン（同 13.9%）、3 位の日本は、金額が同 18.1%減の 1,439 万ドル（同 15.1%）、数量は同 23.4%減の 6,976 トン（同 9.2%）となった。

「日本食品消費動向調査『米国』（2017年3月、ジェットロ）」によると、米国において、醤油は食品市場への浸透度は高く、日系企業で米国にも生産拠点を設置している企業が多い。日系企業が販売している醤油の価格帯としては、10オンス（296ミリリットル）2.4～4ドルのものがほとんどである。例えば、キッコーマンの提供する最もベーシックな醤油は他の商品より安価で、2.4ドルほどである。減塩醤油（約3.2ドル）やグルテンフリーの醤油（約3.7ドル）などの付加価値商品も展開されており、その価格帯は少し高めに設定されている。

他の日系メーカーでは、サンジルス醸造（San J）が販売している醤油があり、その流通量が多い。サンジルス醸造の商品は「たまり醤油」がメインであり、従来のものよりコクがあり濃厚な味付けである。たまり醤油の価格は、一般的な醤油よりも少し高く設定されている。

米国のヒスパニック市場でも醤油はかなり浸透しており、スペイン語話者には「Soy Sauce」では

なく、むしろ「Kikkoman」が醤油の名称として使われている。

米系企業でも醤油を販売している企業は多く、中でもエデン・フーズ（Eden Foods）は日本食品として調味料を多く生産販売している。彼らが販売している醤油は日本産であり、製品には「オーガニック」の認証を取得して、オーガニック醤油として販売されている。「オーガニック製品」は、米国においては付加価値となっており、重要な要素として確立されている。

同調査によれば、ホールフーズやトレーダー・ジョーズなどでは、醤油がプライベートブランド（以下、PB）としても販売されている。一般的な米系メーカーが販売している醤油の価格は、約3～6ドルのものが多く、PBになると2.6ドル程度に価格が抑えられている。

●中国

▼表3：中国の醤油輸入

（単位：ドル、トン、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
シンガポール	8,177,280	4,117	7,952,978	3,921	9,325,576	4,658	17.3	18.8
日本	6,497,088	3,808	6,672,235	3,944	7,492,279	4,776	12.3	21.1
台湾	4,407,262	3,889	3,404,531	2,753	2,751,198	2,073	△ 19.2	△ 24.7
韓国	1,633,952	2,016	1,150,557	1,305	1,159,487	1,567	0.8	20.1
中国	2,074,431	496	916,538	532	920,672	556	0.5	4.5
全世界	23,259,526	14,615	21,123,795	13,556	22,901,707	14,493	8.4	6.9

注：対象はHSコード 2103.10-000

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

19年の中国における醤油の輸入動向をみると、金額は前年比8.4%増の2,290万ドル、数量は同6.9%増の1万4,493トンであった。

輸入相手国の動向みると、1位のシンガポールが前年比17.3%増の932万ドル（シェア40.7%）、数量ベースでは同18.8%増の4,658トン（シェア32.1%）だった。2位の日本は、同12.3%増の749万ドル（同32.7%）、数量ベースでは同21.1%増の4,776トン（同32.9%）、3位の台湾は、金額が同19.2%減の275万ドル（同12.0%）、数量は同24.7%減の2,073トン（同14.3%）となった。

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-5186

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。